

高崎経済大学経済学会学生懸賞論文投稿規程

高崎経済大学経済学会

1 投稿資格

- 高崎経済大学経済学部に所属する学生、経済・経営研究科大学院生（博士前期課程）で本学会の学生会員を対象とする。
- 上記以外の研究生等は対象としない。

2 投稿・掲載ジャンル

- 投稿テーマは各自で自由に設定し論述すること。ただし、募集要項で特定のテーマが設定された場合はそれにしたがうこと。

3 論文の投稿方法

- 論文の投稿を希望する会員については、下記に示す執筆要領をもとに論文を作成し、次の3点を指定された提出期限までに経済学会メールアドレス宛に送付すること。
 - ① 論文体（Word ファイルまたは PDF ファイル）
 - ② 論文要旨（A4 判用紙 400 字以内・学会ホームページからダウンロード）
 - ③ 学生懸賞論文応募用紙（学会ホームページからダウンロード）
- 送信メールアドレス宛に、経済学会から受付メールが届いたら応募完了とする。
- 応募論文は個人・グループあたり 1 編とする。
- 応募論文は卒業論文および他へ投稿中(予定)の論文と重複しても構わないが、当該論文が何らかの媒体に掲載された場合、応募者は学会事務局まで速やかに報告しなければならない。
- 応募論文は、原則として提出前にゼミ担当教員の承認を受けた上で提出しなければならない。
- ゼミ所属前の学生は執筆要領にしたがい、論文としての体裁を整えた上で提出しなければならない。
- 応募論文の著作権は、高崎経済大学経済学会に帰属する。
- 応募書類は返却しない。また、執筆要領を遵守しない論文は選考の対象外となる場合がある。

4 執筆要領

(1) 原稿の作成

原稿は原則として Word で作成。A4 判用紙 40 字×36 行の横書き、フォント 10.5 ポイントとし、本文注のほか図表・写真等も含めて 14 枚以内とする。なお、半角英数も 1 文字と数え、図表・写真等は 1 ページあたり 1,500 字分に換算する。（以下、欧文論文と上限ページを除き基本的には共通）

欧文論文の場合は、A4 判用紙で、本文注のほか図表・写真等を含めて 4,000words 以上 8,000words 以内で作成する。図表・写真等は 1 ページあたり 250words 分に換算する。

(2) 本文

原則として章はⅠ、Ⅱ、・・・、節は(1)、(2)、・・・とし、項以下の見出しがある場合には、a、b、・・・、またはア、イ、・・・を用いる。

(3) 注

注を付ける場合は、本文中当該箇所の右肩に 1、²、・・・のように通し番号を付け、本文末にまとめて、番号を付して記入するか、各ページ毎に脚注として記入する。

(4) 本文などでの文献引用

原則として著者の姓と発表年を示す。著者が 2 人の場合は「・」（英文の場合は and）でつないで 2 人の姓を列挙する。著者が 3 人以上の場合には、筆頭著者の姓に「ほか」または et al. を付す。直接引用の場合には、「：」で区切って該当するページを明記する。

引用：他人の文章をそのまま引用する時には、引用文を「 」で囲み、必ず文献・資料名・引用箇所を明記する。

参照：他人の文章を少しでも変えた場合は、「 」を付けず、必ず文献・資料名・参照箇所を明記する。

出典：図、表などを載せる場合、必ず出典を明記する。

（例）出典：経済企画庁編『生活白書』 1990 年、12 頁。

データを元に自分で図表を作成した場合には、以下のようにする。

（例）出典：経済企画庁編『生活白書』 1990 年、12 頁より作成。

(5) 参考文献

参考文献は、著者名・タイトル・発行所名・発行年などを必ず明記すること。ホームページ上の各種統計・資料を利用した場合は、URL と最終閲覧年月日を明記すること。参考文献の配列は、外国語文献、日本語文献の順に配列する。外国語文献は著者名（姓）のアルファベット順に並べ、日本語文献は、著者名の五十音順に並べる。同じ著者の文献は発表年の順に並べ、同じ発表年のものが複数ある場合には、a、b、・・・を付して並べる。

紙媒体の場合

- ① 単行本：著者名(刊行年) 『書名』 出版社名。
- ② 雑誌論文：著者名(刊行年) 「論文・記事名」 『雑誌・新聞名』 巻号 掲載全ページ数。
- ③ 単行本(論文集)の中の雑誌論文：著者名(刊行年) 「論文・記事名」 編者名『書名』 出版社名、 掲載全ページ数。

〈例〉

- ① 高崎太郎 (2007) 『大学改革その先を読む』 東信堂。
- ② 群馬次郎・前橋三郎 (2008) 「学士課程における学習成果等に関する考察」 『高崎経済大学論集』 第35巻第6号: 136-144。
- ③ 並榎四郎 (2003) 「地域に生きる研究所の足跡をみつめて」 経済五郎・地域花子編 『大学と地域貢献』 日本経済評論社、147-198。

電子媒体の場合

- ① 雑誌論文：著者名(刊行年) 「論文・記事名」 『雑誌・新聞名』 巻号 掲載全ページ数。「文献・情報を閲覧したサイト名」 URL (アクセスした日)
- ② ウェブサイト：サイト名、URL (アクセスした日)

〈例〉

- ① 武石恵美子 (2002) 「雇用システムの構造変化と女性労働」 『経済地理学年報』 第 48 巻第 4 号: 323-338。「CiNii Research」 <https://cir.nii.ac.jp/> (2020 年 11 月 11 日閲覧)
- ② 日本経済新聞社 HP <https://www.nikkei.co.jp/nikkeiinfo/> (2020 年 11 月 18 日閲覧)

5 投稿論文の審査

- 応募論文は本学会正会員である専任教員が厳正に審査を行う。
- 審査員は応募論文の内容等に応じ、本学会理事から 1 編につき専任教員 2 名を選定し、下記の通り審査料を支払うものとする。
本学会正会員：3,000 円
- 審査員は、①問題設定、②論旨の展開と結論、③参考資料の選択・使用の適切さ、④日本語表現の適切さ等について厳正に審査を行い、指定された期限までに審査報告を行わなければならない。
- 理事会において、受賞論文・受賞対象者を決定する。

6 審査結果の発表

- 審査結果は、受賞論文・受賞対象者が決定次第、本人へ直接通知し、学会ホームページにも掲載する。
- 受賞論文のジャンルおよび賞金は下記の通りとし、このなかで一定の水準に達していると判断された作品は、学会発行の機関誌『高崎経済大学論集』に掲載する。
 - ◇金賞 : 賞状と副賞 5 万円
 - ◇銀賞 : 賞状と副賞 3 万円
 - ◇佳作 : 賞状と副賞 1 万円
 - ◇奨励賞 : 賞状と副賞 3 千円

7 その他

- 盗作、剽窃等の不正行為、生成系 AI (ChatGPT 等) による論文作成が発覚した場合、直ちに失格とし、審査結果発表後であっても受賞を取り消す。

以上

施行：平成 30 年 8 月 8 日
改訂：令和 2 年 7 月 22 日
改訂：令和 3 年 7 月 21 日
改訂：令和 5 年 7 月 18 日
改訂：令和 6 年 7 月 17 日